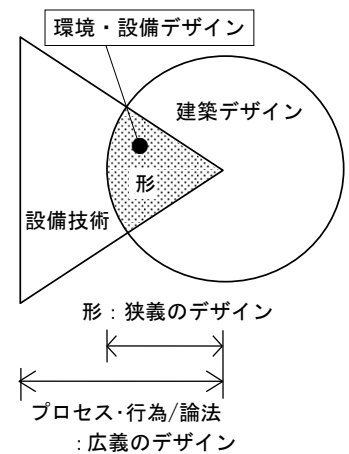


## 応募要項

### 1. 趣旨

建築における環境・設備技術の役割は一段とその重みをましており、建築や都市・地域のデザインに対して、設備機器や設備システムのデザインが大きく関与していることが明らかとなっています。環境・設備デザインは、建築設備分野において従来あまり意識されることのなかった審美感などの「感性」に関する要素に焦点をあて、これに「機能性」「経済性」と環境問題も視野に入れた「社会性」を加えた4つの評価軸により、総合的かつ客観的な評価が可能と考えます。環境・設備デザインに的確で客観的な評価が広く社会一般に公開され、認知されることが望ましいと考えます。そのために優秀な「環境・設備デザイン」に対して賞を贈って表彰することを趣旨とします。



### 2. 部門構成

#### I. 設備器具・システムデザイン部門

汎用性のある設備器具・設備機器・設備システムを対象とする部門

- ①一般に利用される設備器具・設備機器・建築機材(建具など)の他、専門家が扱う器具、機器など設備システムを構成する要素を含む
- ②電気設備・空調設備・給排水設備・防災設備・都市基盤施設などを対象とし、機械室や裏方に設置されるものを含む
- ③再生可能エネルギーを利用するための機器やシステム  
(※再生可能エネルギーは、「太陽光」「風力」「水力」「地熱」「太陽熱」「大気熱」「バイオマス」等をいう)

#### II. 建築・設備統合デザイン部門

設備機器、システムが調和的、機能的に統合化されている環境建築を対象とする部門

- ①設備機能が建築空間の中に統合的に計画されたもの
- ②設備機能を建築的な工夫で隠蔽したもの或いは建築的にその機能を果たしているもの
- ③通常隠蔽されている設備システムを調和的に露出させたもの
- ④再生可能エネルギーや再生材を利用した環境建築

#### III. 都市・ランドスケープデザイン部門

建築とランドスケープの調和、都市空間や広場の提案など、より広がりのある地域や空間・環境を対象とする部門

- ①建築とランドスケープの調和などの他、地域環境の保全や回復に取り組んだもの
- ②道路や公園緑地、都市インフラ、まちなみ・景観など地域環境の向上に取り組んだもの
- ③地元産材の利用や地域エネルギーの活用など、地域風土に適した取り組み
- ④面的なエネルギーの活用、防災性やレジリエンシーに配慮した自立型インフラの形成などに取り組んだもの

### 3. 賞構成

上記3部門ごとに最優秀賞、優秀賞、入賞、BE賞を選定し表彰します。  
また上記に加え、特別賞、奨励賞を決定する場合があります。

### 4. 応募作品

2018年末までに竣工した建築物、設備、またはこれに類するもので、本顕彰制度の趣旨に沿ったものであることとします。

### 5. 応募資格

対象とする施設・設備の発注者、設計者、施工者、製造者、管理者などで、その環境・設備デザインの創出に関わった個人又は会社・団体などとしてします。

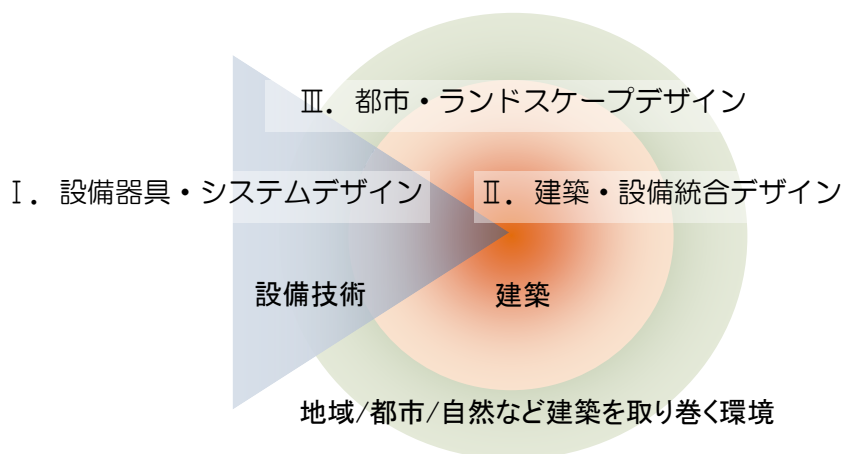
### 6. 著作権

応募作品の著作権は応募者に属します。ただし、作品を主催者や後援、協賛社、協力団体などで公表、発表する場合には、応募時点で応募者の承諾を得られたものと致します。

応募作品に使用する素材（写真・文章）についての著作権・著作権は、応募者自身が応募時点までに許諾しておいていただく必要があります。

例えば、最優秀賞、優秀賞や入賞作品は当協会ホームページへのアップ、雑誌（「BE 建築設備」「新建築」等）、新聞、各種報告書などに転載する場合があります。その際に写真などの著作権使用料やクレジットの記載について写真家と協議をしておく必要があります。

#### 【環境・設備デザインの部門構成概念図】



## 応募方法

### 1. 応募方法

#### 1) 応募登録申込書

規定の応募登録申込書（別紙-①）に必要事項を記載し、紙（〈A4〉×1枚）または電子データで提出してください。

応募登録申込書は、ホームページからダウンロードしてご使用ください。

#### 2) 環境・設備デザインの説明パネル及び評価表

##### 2) -1 説明パネル

別紙-②のフォーマットに習い、施設概要/環境・設備デザインの意図/施設を説明する写真/評価表/その他説明資料をレイアウトしてカラーパネル（展示しますので市販のフレーム付、必ず吊りネジもつけて組立ててください。ネジ式でない場合は展示できません。）で提出してください。

応募作品は、主要部分について英文の併記をお願いします。（別紙-②参照）

〈A1〉×1枚（縦使い）カラーパネルとその縮小版〈A3〉×1枚の紙及びPDF等の電子データも提出してください。

##### 2) -2 評価表

別紙-③のフォーマットに習い、自己評価を行い、紙（〈A4〉×1枚）及びEXCELデータで提出してください。

評価表は、ホームページからダウンロードしてご使用ください。

※応募登録申込書提出後キャンセルされる場合は、必ず事務局へ連絡してください。

※応募作品は原則として返却いたしません。返却希望の場合は、事務局にご相談ください。

※提出する電子データのメディアは「CD」に限定させていただきます。

### 2. 応募者の制限

1部門ごとに1件/1代表応募者とします。共同応募者は、同一部門であっても複数の応募を可とします。

### 3. 応募期間

応募登録申込み : 2019年10月1日から11月15日

説明パネル・評価表の提出締切り : 2019年12月20日（消印有効）

### 4. 受付方法

受取書を発行します。

### 5. 問合せ/提出先

（一社）建築設備総合協会「環境・設備デザイン賞」実行委員会事務局 担当：三澤ひとみ  
〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館6階

TEL:03-5445-4266 FAX:03-5445-4272 E-mail: LEM04305@nifty.ne.jp

建築設備総合協会ホームページ <http://abee.or.jp/>



【環境・設備デザインの説明パネル〈A1〉×1枚縦使い】レイアウト参考例

<b>環境・設備デザインの名称</b> Title(Project name)		<b>応募者名</b> Applicant	
<b>作品の概要 (Project Summary)</b>  ※数行の英文解説 (English commentary of a few lines)	<b>作品の写真 (Photograph)</b>		
<b>環境・設備デザインの解説 (Design Concept)</b>	<b>対象とする設備の設置状況がわかる周辺を含めた中景写真 (Photograph(Whole image))</b>		
<b>機能性を説明する資料 (Functionality)</b>	<b>評価表 (自己評価)</b> Environment & ME Design Evaluation Criteria(Self-evaluation)		
<b>社会性を説明する資料 (Sociality)</b>			
<b>経済性を説明する資料 (Economics)</b>		<b>レーダーチャート</b> Radar chart	
<b>第18回環境・設備デザイン賞</b> Environmental and Equipment Design Award 2019			

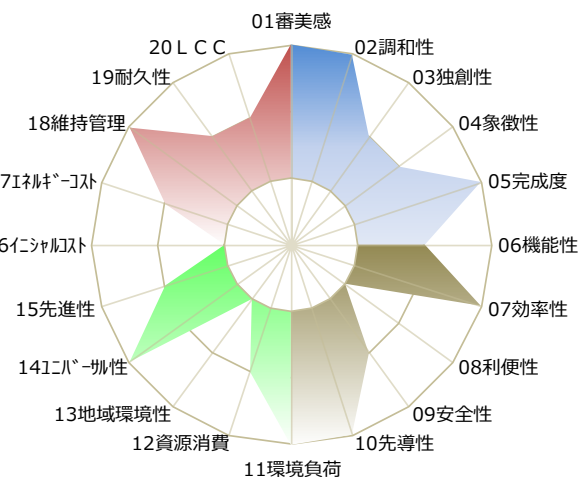
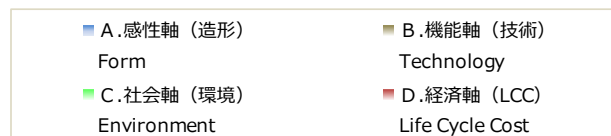
【目的】評価は作品の優劣を判定することではなく、総合的な観点から自ら作品を評価し、そのデザイン意図をより明確にしていくことを目的としています。記載されたデザイン意図は審査する上で考慮されます。

- 【手順】①特に重視したデザインの視点に☆印を記入してください。  
 ②評価項目毎に設計者のデザイン意図を記入し、全ての項目について評価してください。  
 ③評価項目毎に自己評価欄に"○"を記してください。本表では、仮の評価が記載してありますが無視してください。

□評価項目	□特に重視したデザインの視点	□評価項目に対する設計者のデザイン意図 (従前のデザインに比較し、優れている部分、卓越している部分に関して具体的に記述してください。)	□自己評価欄			
			普通 0	優れている +1	卓越している +2	小計
A.感性軸 (造形) Form	01審美感 ☆				○	2
	02調和性 ☆				○	2
	03独創性			○		1
	04象徴性			○		1
	05完成度 ☆				○	2
B.機能軸 (技術) Technology	06機能性			○		1
	07効率性 ☆				○	2
	08利便性		○			0
	09安全性			○		1
	10先導性 ☆				○	2
C.社会軸 (環境) Environment	11環境負荷 ☆				○	2
	12資源消費			○		1
	13地域環境性		○			0
	14ユニバーサル性 ☆				○	2
	15先進性				○	1
D.経済軸 (LCC) Life Cycle Cost	16インシャルコスト		○			0
	17ランニングコスト			○		1
	18維持管理 ☆				○	2
	19耐久性			○		1
	20 L C C			○		1

■評価項目の解説

- 01審美感【色や形・素材などが美しいと感じられること。】
- 02調和性【周辺環境・建築計画と一体化し融合していること。】
- 03独創性【デザインに独創性があること。】
- 04象徴性【設計者のデザイン意図が象徴的に表現されていること。】
- 05完成度【美しさや調和の面からデザインの完成度が高いこと。】
- 06機能性【求められる機能が充足されていること。】
- 07効率性【効率性が高いこと。】
- 08利便性【使いやすく目的に合っていること。】
- 09安全性【安全で危険がなく健康にも配慮されていること。】
- 10先導性【機能面で新たなデザインの方向性を示すこと。】
- 11環境負荷【エネルギー消費を抑制し環境汚染、地球温暖化防止に配慮していること。】
- 12資源消費【資源消費を抑制し、再生材及び再利用可能材を使用していること。】
- 13地域環境性【地域環境の向上に寄与し、騒音・振動など負の影響を抑制していること。】
- 14ユニバーサル性【デザインや機能が年齢や性別・国籍を越えて通用すること。】
- 15先進性【社会的・文化的価値を創出する先進性が認められること。】
- 16インシャルコスト【機能とコストのバランスが取れていること。】
- 17ランニングコスト【運用のためのランニングコストが低いこと。】
- 18維持管理性【維持管理が容易であること。】
- 19耐久性【耐久性・更新性に考慮されていること。】
- 20 L C C【ライフサイクルコストが低減できること。】



## 審査方法

### 1. 審査

#### (1) 予備審査

実行委員会は、応募登録申込書・説明パネル・評価書をもとに提出書類に不備がないかどうか、本顕彰制度の趣旨に合致しているかどうかを確認して推薦作品として第一次審査会に推薦します。

#### (2) 第一次公開審査（2020年3月5日）

実行委員会からの推薦を受け、環境・設備デザイン審査委員により第一次公開審査を行います。

優れた作品が社会一般に広く認知されることが本顕彰制度の趣旨であり、推薦作品は建築会館ホールにおいて展示するとともに、公開審査にて入賞作品（各部門より合計20点前後）を決定します。

尚、作品応募者が第一次審査会に来場している場合、審査委員からの質問に対して回答することができます。

#### (3) 第二次公開審査（2020年4月7日）

第二次審査も一般公開審査とします。審査は、第一次審査で入賞した作品の応募者によるプレゼンテーションを行い、最優秀賞、優秀賞等を決定します。当日、作品見本の持参（手に持てる大きさ）も可能です。

第一次公開審査日（3月5日）10時～17時の来場者の投票によりBE賞を決定します。

全推薦作品の中から、特別賞、奨励賞を決定する場合があります。

審査終了後、表彰式と懇親会を行います。

### 2. 発表

入賞作品は建築設備総合協会発行の「BE 建築設備」誌及びホームページで公表いたします。

また、関連業界紙（建設通信、建設工業、建設産業他）・一般紙・専門誌「新建築」「建築設備と配管工事」、その他で公表するとともに展示発表会を予定しています。入賞作品の代表者にはEメールで直接、事務局からご連絡いたします。

### 3. 賞の贈呈

受賞者に対し、賞状と盾を贈呈するものとします。受賞者は、2020年5月20日に開催予定の（一社）建築設備総合協会定時総会で行う授与式に出席していただきます。

### 4. 「E&E DESIGN」マークの使用権

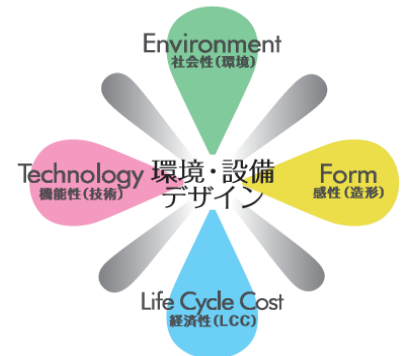
第一次公開審査にて決定した入賞、及び第二次公開審査にて決定した最優秀賞、優秀賞、特別賞、奨励賞、また全応募作品の中から来場者の投票により決定したBE賞、これら全ての受賞者は、使用申請書の提出により「E&E DESIGN」マークを使用期間10年間、使用権利料200,000円/1件にて使用することができます。

なお、過去に受賞した作品も申請により使用権を得ることができます。



## 評価軸

以下に示す4つの評価軸（感性、機能、社会、経済）に関してバランス良く配慮されていることが必要です。また、評価対象によっては、下記に示した全ての評価項目について評価できない場合があります。この場合は、評価者の判断により評価項目から除外することが出来るものとします。



(E&E DESIGN マーク：商標登録第 5590184 号/第 5600112 号/第 5602866 号)

### 感性軸

- |        |                           |
|--------|---------------------------|
| 01 審美感 | 色や形・素材などが美しいと感じられること。     |
| 02 調和性 | 周辺環境、建築計画と一体化し融合していること。   |
| 03 独創性 | デザインに独創性があること。            |
| 04 象徴性 | 設計者のデザイン意図が象徴的に表現されていること。 |
| 05 完成度 | 美しさや調和の面からデザインの完成度が高いこと。  |

### 機能軸

- |        |                        |
|--------|------------------------|
| 06 機能性 | 求められる機能が充足されていること。     |
| 07 効率性 | 効率性が高いこと。              |
| 08 利便性 | 使いやすく目的に合っていること。       |
| 09 安全性 | 安全で危険がなく健康にも配慮されていること。 |
| 10 先導性 | 機能面で新たなデザインの方向性を示すこと。  |

### 社会軸

- |          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| 11 環境負荷  | エネルギー消費を抑制し環境汚染、地球温暖化防止に配慮していること。 |
| 12 資源消費  | 資源消費を抑制し、再生材及び再利用可能材を使用していること。    |
| 13 地域環境性 | 地域環境の向上に寄与し、騒音・振動など負の影響を抑制していること。 |
| 14 エバ-ル性 | デザインや機能が年齢や性別・国籍を越えて通用すること。       |
| 15 先進性   | 社会的・文化的価値を創出する先進性が認められること。        |

### 経済軸

- |             |                      |
|-------------|----------------------|
| 16 仕入れコスト   | 機能とコストのバランスが取れていること。 |
| 17 ランニングコスト | 運用のためのランニングコストが低いこと。 |
| 18 維持管理性    | 維持管理が容易であること。        |
| 19 耐久性      | 耐久性・更新性が考慮されていること。   |
| 20 LCC      | ライフサイクルコストが低減できること。  |



実施概要	
タイトル	第18回環境・設備デザイン賞
主催	一般社団法人 建築設備総合協会 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 6階 TEL:03-5445-4266 FAX:03-5445-4272 e-mail: LEM04305@nifty.ne.jp 「環境・設備デザイン賞」実行委員会 実行委員長 佐藤信孝 (一社)建築設備総合協会顧問、MOE 佐藤事務所代表
趣旨	建築における環境・設備技術の役割は一段とその重みを増しており、建築や地域・都市のデザインに対して、設備機器や設備システムのデザインが大きく関与していることが明らかとなっています。環境・設備デザインに的確で客観的な評価が広く一般社会に公開され、認知されることが望ましいと考えます。そのために優秀な「環境・設備デザイン」に対して賞を贈って表彰することを趣旨とします。
部門構成	I. 設備器具・システムデザイン部門 II. 建築・設備統合デザイン部門 III. 都市・ランドスケープデザイン部門
賞構成	最優秀賞／優秀賞／入賞／BE賞／特別賞／奨励賞
審査委員長	古谷 誠章 早稲田大学 理工学術院建築学科教授
審査委員 (ア行イ順)	赤司 泰義 東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻教授 安東 陽子 テキスタイルコーディネーター、デザイナー 大西 麻貴 大西麻貴+百田有希/O+h 代表 澤田 隆一 サワダライティングデザイン&アナリシス 代表取締役 白井 康裕 (株)LIXIL 理事 LWT Japan デザイン 新技術統括部 統括部長 平賀 達也 (株)ランドスケープ・プラス 代表取締役、 東京工業大学、東京農業大学 非常勤講師 村田 博道 (株)森村設計 取締役副社長 山代 悟 ビルディングランドスケープ 代表取締役 芝浦工業大学 建築学部 特任教授
日程	■令和元年 8月1日 応募要項を建築設備総合協会ホームページで発表 10月1日 応募登録申込み受付開始 11月15日 応募登録締切り 12月20日 環境・設備デザイン説明パネル及び評価書の提出締切り ■令和2年 3月5日 第一次審査〔公開審査〕入賞作品を決定 4月7日 第二次審査〔プレゼンによる公開審査〕最優秀賞／優秀賞／ BE賞／特別賞／奨励賞を決定、表彰式、懇親会 5月20日 授与式
共催	(株)日刊建設通信新聞社 (株)日刊建設工業新聞社 (株)日刊建設産業新聞社
後援	東京都 (一社)日本建築学会 (公社)空気調和・衛生工学会 (一社)電気設備学会 (一社)建築設備技術者協会 (一社)照明学会 (一社)不動産協会 (株)新建築社 日本工業出版(株)
作品公開	各報道機関 当協会機関誌「BE 建築設備」「作品報告書」「新建築」 「建築設備と配管工事」 企業・学校展示等 建築設備総合協会ホームページ <a href="http://abee.or.jp">http://abee.or.jp</a>